

目次

共生システム理工学研究科

＜環境放射能学専攻（D）＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人福島大学

(2) 大学名

福島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒960-1296
福島県福島市金谷川1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミウラ ヒロキ) 三浦 浩喜 (令和2年4月)	該当なし	
研究科長	(サトウ ミチオ) 佐藤 理夫 (令和2年4月)	(ナガハシ ヨシタカ) 長橋 良隆 (令和3年5月)	研究科長変更のため 令和3年5月1日(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
共生システム理工学研究所 環境放射能学専攻 博士（理工学）	理学関係 工学関係	3 年	2 人	年次 人	6 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	2	人	2	人	人	1倍	一倍
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	2	-	4	-			
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	2	-	4	-			
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	2	-	4	-			
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	1	-	3	-			
入学定員超過率 B/A									0.5		1.5				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください）。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	1 [1] (-)	- [-] (-)	3 [1] (-)	- [-] (-)						
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	1 [1] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			1 [1] (-)	4 [2] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	1 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	4 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	《生態学分野》											
	放射生態学特別演習Ⅰ	1前		2		1	1			1		2
	放射生態学特別演習Ⅱ	1後		2		1	1			1		2
	《モデリング分野》											
	放射能動態解析特別演習Ⅰ	1前		2		2	1		2			3
	放射能動態解析特別演習Ⅱ	1後		2		2	1		2			3
	《計測分野》											
	放射能計測特別演習Ⅰ	1前		2		2	1					3
	放射能計測特別演習Ⅱ	1後		2		2	1					3
	小計(6科目)	-		12		5	3	2	1			8
応用科目	環境放射能特別演習Ⅰ	2前		2		5	3	2	1			
	環境放射能特別演習Ⅱ	2後		2		5	3	2	1			
	環境放射能特別演習Ⅲ	3前		2		1	1	1				
	サイエンスコミュニケーション特別演習	3後		2		1						
	小計(4科目)	-		8		5	3	2	1			
講究科目	環境放射能特別研究	1~3通		6		5	3					
	小計(1科目)	-		6		5	3					
合計(11科目)			-	14	12	5	3	2	1			8
卒業要件及び履修方法												
基礎科目6科目中、3科目を選択し6単位、応用科目必修8単位、講究科目必修6単位、合計20単位以上修得し、本大学院が行う博士論文審査に合格すること。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	《生態学分野》											
	放射生態学特別演習Ⅰ(未開講)	1前		2		1	1			2		2
	放射生態学特別演習Ⅱ	1後		2		1	1			2		2
	《モデリング分野》											
	放射能動態解析特別演習Ⅰ	1前		2		2	1		4			3
	放射能動態解析特別演習Ⅱ	1後		2		2	1		4			3
	《計測分野》											
	放射能計測特別演習Ⅰ	1前		2		2	1					3
	放射能計測特別演習Ⅱ	1後		2		2	1					3
	小計(6科目)	-		12		4	6	2				8
応用科目	環境放射能特別演習Ⅰ(未開講)	2前		2		4	6	2				
	環境放射能特別演習Ⅱ	2後		2		4	6	2				
	環境放射能特別演習Ⅲ	3前		2		1	2					
	サイエンスコミュニケーション特別演習	3後		2		1						
	小計(4科目)	-		8		4	6	2				
講究科目	環境放射能特別研究	1~3通		6		4	6					
	小計(1科目)	-		6		4	6					
合計(11科目)			-	14	12	4	6	2				8
卒業要件及び履修方法												
基礎科目6科目中、3科目を選択し6単位、応用科目必修8単位、講究科目必修6単位、合計20単位以上修得し、本大学院が行う博士論文審査に合格すること。												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	《生態学分野》											
	放射生態学特別演習Ⅰ(未開講)	1前	2			1	1			2		2
	放射生態学特別演習Ⅱ(未開講)	1後	2			1	1			2		2
	《モデリング分野》											
	放射能動態解析特別演習Ⅰ	1前	2			2	3					3
	放射能動態解析特別演習Ⅱ(未開講)	1後	2			2	3					3
	《計測分野》											
	放射能計測特別演習Ⅰ(未開講)	1前	2			2	1					3
放射能計測特別演習Ⅱ(未開講)	1後	2			2	1					3	
小計(6科目)	-		12			5	5			2		8
応用科目	環境放射能特別演習Ⅰ	2前	2			5	5			2		
	環境放射能特別演習Ⅱ	2後	2			5	5			2		
	環境放射能特別演習Ⅲ	3前	2			1	2					
	サイエンスコミュニケーション特別演習	3後	2			1						
	小計(4科目)	-		8			5	5			2	
講究科目	環境放射能特別研究	1~3選	6			5	5					
	小計(1科目)	-		6			5	5		2		
合計(11科目)		-	14	12		5	5			2		8
卒業要件及び履修方法												
基礎科目6科目中、3科目を選択し6単位、応用科目必修8単位、講究科目必修6単位、合計20単位以上修得し、本大学院が行う博士論文審査に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・令和3年4月専任教員等の職名変更及び担当教員採用に伴い次のとおり変更。
- ・「放射生態学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・「放射生態学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・「放射能動態解析特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1 講師2」から「准教授3 講師0」に変更。
- ・「放射能動態解析特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1 講師2」から「准教授3 講師0」に変更。
- ・「環境放射能特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3 講師2 助教1」から「准教授5 講師0 助教2」に変更。
- ・「環境放射能特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3 講師2 助教1」から「准教授5 講師0 助教2」に変更。
- ・「環境放射能特別演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1 講師1」から「准教授2 講師0」に変更。
- ・「環境放射能特別研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」に変更。

【令和4年度】

- ・令和4年4月専任教員等の職名変更、担当教員退職及び採用に伴い次のとおり変更。
- ・「放射生態学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0 助教2」から「講師2 助教0」に変更。
- ・「放射生態学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0 助教2」から「講師2 助教0」に変更。
- ・「放射能動態解析特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2 准教授3」から「教授1 准教授4」に変更。
- ・「放射能動態解析特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2 准教授3」から「教授1 准教授4」に変更。
- ・「環境放射能特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5 准教授5 講師0 助教2」から「教授4 准教授6 講師2 助教0」に変更。
- ・「環境放射能特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5 准教授5 講師0 助教2」から「教授4 准教授6 講師2 助教0」に変更。
- ・「環境放射能特別研究」の専任教員等の配置を「教授5 准教授5」から「教授4 准教授6」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	6 科目	科目	11 科目	5 科目 []	6 科目 []	科目 []	11 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{11} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他の内、 借地19,187㎡ を含む 借用期間：20年		
	校舎敷地	170,811㎡	0㎡	0㎡	170,811㎡			
	運動場用地	81,940㎡	0㎡	0㎡	81,940㎡			
	小 計	252,751㎡	0㎡	0㎡	252,751㎡			
	そ の 他	199,330㎡	0㎡	0㎡	199,330㎡			
	合 計	452,081㎡	0㎡	0㎡	452,081㎡			
(2) 校 舎	専 用	76,079㎡	0㎡	0㎡	76,079㎡			
	(76,079㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(76,079㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	34室	62室	95室	19室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	大学全体 令和4年4月よりBYOD(私 物端末の学習利用)に移 行したためPC設置教室を 1部屋にした(4)	
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員1名増及び研究 室割当変更のため(3)		
	共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻			12 10 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	専攻単位での特定が不 可能なため、大学全体 の数
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	共生システム理 工学研究科 環 境放射能学専攻	950,000 [237,140] (965,050 [237,052]) (958,8 33 [236,638])	13,714 [2,773] (13,56513,522 [2,731])	9,000 [9,000] (21,686) (21,064 -[21,064])	4,525 (4,692) (4,657)	0	0	
計	950,000 [237,140] (965,050 [237,052]) (958,8 33 [236,638])	13,714 [2,773] (13,56513,522 [2,731])	9,000 [9,000] (21,686) (21,064 -[21,064])	4,525 (4,692) (4,657)	0	0		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 令和4年5月 生協跡地等に座席を増や したため(4)	
	10,084㎡		691 664席		1,113,194冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体
	3,778㎡		陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニ スコート、バレーボールコート、弓道場、ハンド ボール場、水泳プール、馬術場					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当 り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	福島大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会学群	4	685	3年次30人	2,800		1.02	1.02			-	
人間発達文化学類	4	260	3年次10人	1,060	学士(発達文化)	1.01	1.01	令和元	平成17	福島県福島市金谷川1番地	
行政政策学類	4	185	3年次10人	760	学士(法学)(社会学)	1.03	1.01	令和元	平成17	同上	
行政政策学類 夜間主コース	4	20	-	80	学士(法学)(社会学)	1.08	1.10	令和元	令和元	同上	
経済経営学類	4	220	3年次10人	900	学士(経済学)	1.02	1.03	令和元	平成17	同上	
理工学群	4	160	-	640		1.06	1.11			-	
共生システム 理工学類	4	160	-	640	学士(理工学)	1.06	1.11	令和元	平成17	福島県福島市金谷川1番地	
農学群	4	100	-	400		1.04	1.07			-	
食農学類	4	100	-	400	学士(農学)	1.04	1.07	令和元	令和元	福島県福島市金谷川1番地	
大学全体	4	945	30	3,840	-	1.03	1.04	-	-	-	

大学の名称	福島大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間発達文化研究科										-	
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士(専門職)	0.60	0.50		平成29	福島県福島市金谷川1番地	
地域文化創造専攻	2	17	-	34	修士(地域文化)	0.80	0.76		平成21	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14	修士(教育学)	0.99	1.14		平成21	同上	
地域政策科学研究科										-	
地域政策科学専攻	2	20	-	40	修士(地域政策)	0.37	0.40		平成5	福島県福島市金谷川1番地	
経済学研究科										-	
経済学専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.55	0.60		昭和51	福島県福島市金谷川1番地	
経営学専攻	2	12	-	24	修士(経済学)	0.74	0.91		昭和61	同上	
共生システム理工学研究科										-	
共生システム理工学専攻	2	53	-	106	修士(理工学)	0.96	1.01		平成20	福島県福島市金谷川1番地	
環境放射能学専攻	2	7	-	14	修士(理工学)	0.49	0.57		令和元	同上	
共生システム理工学専攻	3	4	-	14	博士(理工学)	0.75	0.50	令和3	平成20	同上	
環境放射能学専攻	3	2	-	4	博士(理工学)	1.00	1.50	令和3	令和3	同上	
大学院全体	-	148	-	302	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (専攻長)	塚田 祥文 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射能計測特別演習I※ 放射能計測特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別演習III※ サイエンスコミュニケーション特別演習 環境放射能特別研究
専	教授	Vasyl Yoschenko <令和3年4月> Ph. D. Biology (烏国)
		放射生態学特別演習I※ 放射生態学特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	Mark Zheleznyak <令和3年4月> Ph. D. Fluid Mechanics (烏国)
		放射能動態解析特別演習I※ 放射能動態解析特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	Aleksei Konoplev <令和3年4月> Doctor of Science in Radiobiology(露国)
		放射能動態解析特別演習I※ 放射能動態解析特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	鳥居 建男 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能計測特別演習I※ 放射能計測特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (専攻長)	塚田 祥文 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射能計測特別演習I※ 放射能計測特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別演習III※ サイエンスコミュニケーション特別演習 環境放射能特別研究
専	教授	Vasyl Yoschenko <令和3年4月> Ph. D. Biology (烏国)
		放射生態学特別演習I※ 放射生態学特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	Mark Zheleznyak <令和3年4月> Ph. D. Fluid Mechanics (烏国)
		放射能動態解析特別演習I※ 放射能動態解析特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	Aleksei Konoplev <令和3年4月> Doctor of Science in Radiobiology(露国)
		放射能動態解析特別演習I※ 放射能動態解析特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	鳥居 建男 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能計測特別演習I※ 放射能計測特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (専攻長)	塚田 祥文 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射能計測特別演習I※ 放射能計測特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別演習III※ サイエンスコミュニケーション特別演習 環境放射能特別研究
専	教授	Vasyl Yoschenko <令和3年4月> Ph. D. Biology (烏国)
		放射生態学特別演習I※ 放射生態学特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	Aleksei Konoplev <令和3年4月> Doctor of Science in Radiobiology(露国)
		放射能動態解析特別演習I※ 放射能動態解析特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任教授	鳥居 建男 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能計測特別演習I※ 放射能計測特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究
専	特任准教授	Maksym Gusyev <令和4年4月> Ph. D. in Environmental Science (米国)
		放射能動態解析特別演習I※ 放射能動態解析特別演習II※ 環境放射能特別演習I 環境放射能特別演習II 環境放射能特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	和田 敏裕 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ 環境放射能特別研究
専	准教授	Ismail Md. Mofizur Rahman <令和3年4月> 博士(学術)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任准教授	高田 兵衛 <令和3年4月> 博士(水産科学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	講師	平尾(久保)茂一 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ
専	講師	脇山 義史 <令和3年4月> 博士(理学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※
専	特任助教	石庭 寛子 <令和3年4月> 博士(学術)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	和田 敏裕 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ 環境放射能特別研究
専	准教授	Ismail Md. Mofizur Rahman <令和3年4月> 博士(学術)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任准教授	高田 兵衛 <令和3年4月> 博士(水産科学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	准教授	平尾(久保)茂一 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	准教授	脇山 義史 <令和3年4月> 博士(理学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ 環境放射能特別研究
専	特任助教	石庭 寛子 <令和3年4月> 博士(学術)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ
専	特任助教	五十嵐 康記 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	和田 敏裕 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ 環境放射能特別研究
専	准教授	Ismail Md. Mofizur Rahman <令和3年4月> 博士(学術)
		放射能計測特別演習Ⅰ※ 放射能計測特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	特任准教授	高田 兵衛 <令和3年4月> 博士(水産科学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	准教授	平尾(久保)茂一 <令和3年4月> 博士(工学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別研究
専	准教授	脇山 義史 <令和3年4月> 博士(理学)
		放射能動態解析特別演習Ⅰ※ 放射能動態解析特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ 環境放射能特別演習Ⅲ※ 環境放射能特別研究
専	特任講師	石庭 寛子 <令和3年4月> 博士(学術)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ
専	特任講師	五十嵐 康記 <令和3年4月> 博士(農学)
		放射生態学特別演習Ⅰ※ 放射生態学特別演習Ⅱ※ 環境放射能特別演習Ⅰ 環境放射能特別演習Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和3年4月平尾（久保）茂一教員の職名変更（講師→准教授）。・令和3年4月脇山義史教員の職名変更（講師→准教授）。・令和3年4月五十嵐康記特任助教採用。・令和3年4月横尾善之兼任教員の職名変更（准教授→教授）。

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和4年3月Mark Zheleznyak特任教授退職。・令和4年4月Maksym Gusyev特任准教授採用。・令和4年4月石庭寛子教員の職名変更（特任助教→特任講師）。・令和4年4月五十嵐康記教員の職名変更（特任助教→特任講師）。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	3	2	1	11	0	4	6	2	0	12	0
(5)	(5)	(0)	(2)	(12)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
8	3	0				10	2	0			
(10)	(2)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	6	2	0	12	0	4	6	2	0	12	0
[Δ1]	[3]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[Δ1]	[3]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
10	2	0				10	2	0			
[2]	[Δ1]	[0]				[2]	[Δ1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{12} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	特任教授	Mark Zheleznyak	R4.3	選択	放射能動態解析特別演習Ⅰ	①	R4.3.31付け任期満了による退職のため辞任（4）			
				選択	放射能動態解析特別演習Ⅱ	①				
				必修	環境放射能特別演習Ⅰ	①				
				必修	環境放射能特別演習Ⅱ	①				
				必修	環境放射能特別研究	①				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3	科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2	科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5	科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{11} = 9.09 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>任期満了による退職者の後任を採用したため、履修への影響はない。学生に対しては、ガイダンス等で周知済みである。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜共生システム理工学研究科 環境放射能学専攻＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
アドミッション・ポリシー	<p>アドミッション・ポリシー（一部追加）</p> <p>○入学者選抜の基本方針 一般入試、社会人特別入試の枠を設け、研究に関する口頭発表・口頭試問および出願書類を総合的に判断して選抜を行います。 口頭発表では、これまでの研究成果および入学後の研究内容について説明を求め、口頭試問では、口頭発表やその内容に関連する基礎的・専門的事項について重点的に試問を行います。口頭発表・口頭試問を通じ、上記に示す学生像および求める知識・技能・意欲を備えているか総合的に評価を行います。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>カリキュラム・ポリシー（一部追加）</p> <p>（教育課程の編成） ※見出しの追加のみで本文の変更はなし。</p> <p>（教育・学習方法） 学生が、ディプロマ・ポリシーに掲げた諸能力を獲得できるように、講義、演習、実験・実習を体系的に実施する。対話や討論、研究成果の発表を通じたプレゼンテーション能力を涵養する機会等を実施することによって、本専攻が掲げる教育目標の達成を図る。</p> <p>（学習成果の評価） 成績は、S、A、B、C、及びFの5段階をもって表し、S、A、B、及びCを合格、Fを不合格とする。各授業科目では、シラバスにレポートや最終試験、実技・実演、作品等といった当該科目の「成績評価の方法」を明記し、可能な限り複数の評価手段によって成績を判定する。博士論文の審査においては、博士論文審査基準に基づき厳格な審査を行う。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では恒常的なFD活動を実施するため、令和元年度の全学再編時に設置した「教育推進機構 高等教育企画室」において全学FDの企画・立案を行い、その実施を全学教務協議会が担う体制に移行した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和3年度、高等教育企画室会議は教育・学生担当副学長、基盤教育主管、企画室所属教員、教務課長を構成員として毎月1回の頻度で年間10回開催した。</p>
--

c 委員会の審議事項等

1) 教育推進機構高等教育企画室

- ・高等教育政策及び実践の分析に関すること。
- ・ファカルティ・ディベロップメントの取組に関すること。
- ・機関調査及び学生調査に関すること。
- ・その他企画室の目的を達成するために必要な業務

2) 全学教務協議会

- ・全学の教務管理に関すること。
- ・全学の内部質保証の実施に関すること。
- ・全学の非常勤講師計画に関すること。
- ・単位互換の実施に関すること。
- ・学類教育と基盤教育との調整に関すること。
- ・シラバス及びナンバリングに関すること。
- ・学務情報統合システムに関すること。
- ・その他必要と認められる事項

② 実施状況

a 実施内容

令和3年度は、全学的に以下の取組みを行った。

- ・令和3年度教育改善のための学生アンケート（前期開講科目・後期開講科目）を実施した。
- ・令和3年度全学FD研究会を開催した。
- ・令和4年度開講科目に係るシラバス点検を実施した。
- ・ICT活用方針として、令和4年度からBYODの導入を決定した。

b 実施方法

・令和3年度の教育改善のための学生アンケートは、前期分を7月、後期分を1月に、教務情報システムを使用してwebアンケートにより実施した。

・全学FD研究会は、全教員を対象として、全体会、基盤教育部会、専門教育部会の3部構成で開催した。基盤教育部会（科目グループ別）及び専門教育部会（学類別）の各分野について分科会形式によるカリキュラムの分析・検討を行った。

・令和3年度からシラバス書式を一部見直し、令和4年度開講科目のシラバス記載状況について「シラバス記入要領」に基づき各学類・高等教育企画室の2段階で点検し、記載内容の適性化を図った。

・令和4年度からのBYOD移行に向けて、各学類から意見聴取を行い、求められるスペックやICT環境について整理・検討を行い、学生がPC購入の際に求めるスペックを確認した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・令和3年度の全学FD研究会は10/28（木）に開催し、当日209名の教員が参加した。第1部の全体会では内部質保証の観点から全学FD研究会の趣旨説明が行われ、授業評価アンケート及びシラバスの分析結果について報告があった。第2部の基盤教育と第3部の専門教育の部会では、授業評価アンケートの分析結果に基づく授業改善などについて教員相互の意見交換をした。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・教育改善のための学生アンケートの集計結果は科目担当者に提供され、授業改善の取組みに活用している。

・全学FD研究会は、全学の教員が一堂に会してカリキュラムの課題や改善策を共有する契機となった。今後も引き続き全学レベル及び学類レベルのFD活動を展開し、授業改善を通じて教育の質の維持・向上を図ることとしている。

・シラバス点検の結果、令和3年度からシラバス記入要領に「授業外学修時間」の項目を追加し、シラバスに「授業外学修の内容及び時間」を明記するようになった。

・「BYODサポートサイト」を開設するとともに、ICT活用のモデルケースとして「高等教育企画室webページ」に遠隔授業用ページを設置、またレポートフォリオ活用状況について学類教員へ「ゼミ担当者意見交換会」で改めてレポートフォリオの活用方法について説明をした。

③学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・本学では、各セメスター終盤に「教育改善のための学生アンケート」を実施している。令和3年度は前期分を7月に、後期分を1月に実施した。次年度以降も引き続き実施することとしている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・本学では、毎年作成する「福島大学FD活動報告書」に教育改善アンケートの集計結果を掲載してホームページ上で公開してきた。今後も引き続き実施することとしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

博士後期課程開設初年度の令和3年度入学者は、スーダンからの留学生1名であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で入国規制がかかり渡日できなかつたため、遠隔で可能な範囲の講義のみの受講となった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和5年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受け、「福島大学の教育研究等の総合的な状況は、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準に適合している。」と評価された。

○認証評価>大学機関別認証評価（令和3年度実施）

<https://www.fukushima-u.ac.jp/university/public-matters/evaluation/self.html>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。